

# カナダ「大学ランキング」の常連 マウントアリソン大学



▲ マウントアリソン大学のキャンパス  
(同大学のホームページから)

本学がカナダの大学と初の国際交流協定を結んだマウントアリソン大学は、1839年創立。学部構成は人文科学部、社会科学部、自然科学部の3学部を超える学科があり、外国語科目の中に「日本語」も設置されている。教授陣には各分野のトップクラスが揃い、少人数教育で教授から直接指導が受けられる。学業と共に、芸術やスポーツ、地域活動などを通して確かな知性と豊かな感性を備えた人材を輩出するため、学内には本格的なアートギャラリーもあり、芸術を教育の一環として重視している。



▲ 町からマウントアリソン大学のシンポルの教会を臨む(下は冬の様子)



▲ カナダ建国記念日を祝うサッカーの人々(撮影はいずれも王伸子教授)

## のびのび学習環境 治安の良さが魅力

### 東部サックビル市

面積10万平方メートルの広大なキャンパスには、図書館、食堂、学生センター、留学生センター、美術館、体育館、マ

王教授からマウントアリソン大学の魅力を聞いた。小さな大学ですが、

ルチメディアセンターなど、本学は影響の少ないカナダの国際交流協定校を模索して、王教授がマウントアリソン大学に滞在し、提携についての打診を受けたことから両大学間で協議が開始された。本年2月に同大学のステューブン・マクラッティ副学長(学術/研究担当)とアダム・クリスティ国際交流担当が本学を訪れ、具体的な協議がなされた。



より100年前にさかのぼる歴史を持つ、静かな人と人の距離感のない大都市だ。ニューブランズウィック州の対岸には「赤毛のアン」の舞台の街中で歓迎されるようになったプリンスエドワード島がある。自然環境も素晴らしい体験に恵まれ、治安が良い。

## 留学生とトーク&ディスカッションも

# 留学・国際交流フェア開催

留学希望者や国際交流に興味をもつ学生たちの貴重な情報収集の場、留学生との交流の場となる「第7回専修大学留学・国際交流フェア」は6月16日から30日まで生田キャンパスで開催された。

ネパールの留学生タルチャバデルさんの「母国紹介」



▲ 留学生とディスカッション



▲ 学生有志が完成させたモザイクアート



▲ 女子も参加した留学生サッカー大会

## ウーロンゴン大生ら12大学44人が参加

### 夏期日本語・日本事情プログラム開講中

国際交流協定校などの学生が、国際交流センターで日本語学習や日本文化を研修する夏期日本語・日本事情プログラムが6月18日から始まった。



▲ ウーロンゴン大学生が発表

## 留学生日本語スピーチコンテスト

### 異文化体験の驚き、喜び

# 見事な日本語で

6月20日には、留学生の日本語学習の成果を披露する第11回留学生日本語スピーチコンテストが開催された。韓国出身となった李サングルさんは、韓国と日本の大学生活の違いを滑らかな日本語で披露。2位は林鍾愛さん(韓国)、3位はタルチャバデル・ヒニタさん(ネパール・文学研究科修士1年)が受賞した。



▲ 1位の李サングルさん

長期交換留学プログラムで渡航する2010年度長期交換留学生(第2期)が以下の10人に決まり、それぞれ留学先に派遣された。敬称略。

- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学
- 米オレゴン大学



▲ 留学体験者による留学相談



▲ エコキャップ回収運動では新しい回収箱が設置された

エコキャップ回収運動では新しい回収箱が設置された。

鳥羽康平(文3)